

<森のクイズラリー> 問題&解説シート 2024年度冬版

A

Q. やつがたけしゅうへん ふう あいだ やつがたけ ことば つか
八ヶ岳周辺では、冬の間に「八ヶ岳おろし」という言葉が使われます。
この「八ヶ岳おろし」は何のことを言っているのでしょうか？

- ① ふう だいこんりょうり ② きよさと ふう でんとうまつ ③ やつがたけ こうふ ぬ つめ かせ
① 冬の大根料理 ② 清里の冬の伝統祭り ③ 八ヶ岳から甲府に抜けていく冷たい風

【こたえ】 ③ やつがたけ こうふ ぬ つめ かせ
八ヶ岳から甲府に抜けていく冷たい風

ふう あいだ やつがたけ ふ つよ つめ ほくせい かせ やつがたけ やま
冬の間に八ヶ岳から吹いてくる強く冷たい北西の風を「八ヶ岳おろし」といいます。山から
ふき お かせ よ だいひょうてき ひょうごけん ろっこう
吹き下ろす風は「おろし」と呼ばれ、代表的なものに兵庫県の「六甲おろし」などがありま
す。

やつがたけ ごんげんだけ かせ さぶろう かせ かみさま す やつがたけ ふ
八ヶ岳の権現岳には「風の三郎」という風の神様が住んでいて、八ヶ岳おろしを吹かせてい
るという伝説も！ みやざわけんじ どうわ かせ またさぶろう い
という伝説も！ 宮沢賢治の童話『風の又三郎』のヒントになったと言われています。

B

Q. やつがたけしぜん ひょうこう やく ばん ひ がつ
ここ八ヶ岳自然ふれあいセンターの標高は約1400mです。1番冷え込む1月の
へいきんきおん ねん かんばん せっち おんどけい いま きおん しら
平均気温は0.1℃(2022年)です。看板に設置してある温度計で、今の気温を調
べて書いてみましょう。

【こたえ】 か こた せいがい
あなたの書いた答えが正解！

つよ つめ やつがたけ ふ ふう きび さむ つづ しゅうへん
強く冷たい八ヶ岳おろしが吹く冬は厳しい寒さが続きます。ここふれあいセンター周辺の

がつ へいきん きおん ねんど ねんど
1月の平均気温は、2022年度で0.1℃、2013年度は-4.1℃でした。

やく ねん ちか じょうしょう すうねんまえ さいていきおん
約10年で4℃近く上昇しています。数年前は最低気温が-15℃になることもありました。

きんねん きこうへんどう まいとしきおん じょうしょう はつゆき おく
近年は気候変動により、毎年気温の上昇や初雪の遅れるニュースもあります。

しょくぶつ しょくせいちいき せいそく い もの しゆるい へんか きんねん しゅうへん せいそく
植物の植生地域や生息する生き物の種類の変化など(カブトムシが近年はこの周辺でも生息

するように！)、せいいたいけいぜんたい すこ えいきょう あらわ
生態系全体にも少しずつ影響が現れています。

C

Q. 清里高原の厳しい冬でも、多くの鳥たちがとびまわっています。『留鳥』と呼ばれる1年中定住場所が変わらない鳥や、主にロシアや中国などから渡ってくる『冬鳥』と呼ばれる鳥たちです。次のうち、冬鳥はどれでしょうか。

- ① オオルリ ② シジュウカラ ③ アトリ ④ フクロウ

【こたえ】③ アトリ

冬鳥は春に北の生まれ故郷に戻って繁殖し、秋には南の越冬地に移ります。どの時期に日本にいるかによって夏鳥や冬鳥といった言い方をします。オオルリは夏鳥、フクロウとシジュウカラは留鳥（りゅうちょう）と呼ばれ、一年中同じ場所で見ることができます。冬は木の葉が少ないので、鳥を観察するのに最適な季節です。

D

Q. この森にすむヤマネは、寒さの厳しい12月～4月の間冬眠をします。冬の間、ヤマネのように冬眠するいきものはどれでしょうか？

- ① イノシシ ② ヘビ ③ ニホンリス ④ シカ

【こたえ】②ヘビ

2025年の干支はヘビですね！清里周辺に生息するヘビ（アオダイショウ、ジムグリ、ヤマカガシ）は、冬の間は冬眠します。主に土の中に潜ったり、石の下や木の幹の隙間など、様々な場所に入り込んで寒さから身を守りじっと眠っています。

E

Q. 冬になると木々は葉っぱを落とします。森の中は落ち葉でいっぱいです。ところが季節が過ぎていくと、いつのまにか落ち葉はなくなっています。たくさんの落ち葉はどこにいったのでしょうか？

- ① 山の神様が掃除してくれる ② ミミズや小さな微生物が食べる ③ タヌキが化ける時に使う

【こたえ】②ミミズや小さな微生物が食べる

落ち葉はミミズやダンゴムシ、小さな微生物が食べて次第に細くなり、腐りながら土と混ざり、栄養のある土へと変わっていきます。そしてその土によって植物の成長や生き物の生活の場へと繋がります、たくさんの命が育まれていきます。